



みのわ通信 No. 109

発行：箕曲市民センター（〒518-0441 名張市夏見215番地）

TEL/FAX: 0595 (63) 0453

Email: minowa-ko@emachi-nabari.jp



箕曲地域の神社く式年造営ラッッシュ

積田神社ご造営

夏見の鎮守様・氏神様である積田（せきた）神社は南都春日大社奥宮と号され古くからの歴史のある神社です。この度も式年造営が行なわれています。

「式年造営」とは、式年（一定の決まった期間二〇年）において神様の鎮座されます本殿を新築・改修し、次の代につな



いでいく事業です。現在、最古の棟札（建築した証となる）は慶長五年（一六〇〇年）のものが残っています。伊賀地域の神社の多くは天正伊賀の乱により焼滅しているからです。今回のご造営事業も進み、春日造りの本殿も鮮やかな朱色に復元されました。これらの遂行を地域をはじめ、共々に喜ぶ奉祝祭が四月二日（日）に予定されて

います。

夏見地区に続き、箕曲地域内にある瀬古口の稻荷神社が、また箕曲中村の箕曲神社の式年造営が進められていきます。

戦、飢饉、災害の時代もありましたが、いつれの困難も乗り越え回を重ねています。このように地域の歴史文化が脈々と引き継がれ、後世に誇りとしていきたいものです。



国道一六五号の安全対策



国道一六五号瀬古

口歩道沿いに、歩行者用の信号機と横断歩道が新たに設置されました。この場所は国道を安全に横断するため陸橋が設置されていました。

（名張市で一番最初の横断歩道橋）近年の車の交通量の増加などにより縦断するの危険な箇所となっていました。子どもたちの通学路でもあり歩行者用信号機の設置と共に、車による巻き込み防止カー

ドレールや水路への転落防止のレールも併せて設置され、大きく改善されました。とはいえ他にも地域内での事故やヒヤリ・ハットするような場所も多く残っています。

環境部・防災防犯部でも取り組みを進めています。各地区においても、安全と生活環境の調和した対策の検討をお願いします。



運転はゆとりとマナーの二刀流